

警備産業

- 1962
- 日本初の警備保障会社として創業。日本警備保障(株)(現、セコム(株))設立
- 1964
- 東京オリンピック選手村の警備を担当
- 1966
- 日本初のオンライン安全システム「SPアラーム」を開発・発売
- 1974
- 東京証券取引所市場第二部に株式上場
 - 国内防災業界第1位の能美防災工業(株)(現、能美防災(株))と業務提携
- 1975
- 世界初のCSS(コンピュータ・セキュリティ・システム)の稼働を開始
- 1978
- 台湾に合併会社(現、中興保全科技股份有限公司)を設立し、海外進出を開始
 - 東京証券取引所市場第一部に指定替え
- 1981
- 日本初の家庭用安全システム「マイアラーム」(現、「セコム・ホームセキュリティ」)を発売
 - 韓国に合併会社(現、(株)エスワン)設立
- 1983
- 情報通信事業を開始
 - 日本警備保障(株)よりセコム(株)に商号変更

- セキュリティサービス事業
- 海外におけるセキュリティサービス事業
- 防災事業
- メディカルサービス事業
- 保険事業
- 地理空間情報サービス事業
- BPO・ICT事業

安全産業

- 1985
- 情報セキュリティサービスを開始
- 1988
- タイへ進出
- 1989
- 「社会システム産業」元年を宣言
- 1991
- イギリス、マレーシアへ進出
 - 在宅医療サービスでメディカルサービス事業を開始
- 1992
- 中国、シンガポール、オーストラリアへ進出
- 1994
- インドネシアへ進出
 - 日本初の遠隔画像診断支援サービスを開始
- 1996
- シニアレジデンスの運営を開始
- 1998
- 東洋火災海上保険(株)(現、セコム損害保険(株))に資本参加
 - 電子認証事業に参入
- 1999
- 航空測量最大手の(株)パスコに資本参加
- 2000
- 「セキュアデータセンター」を開設
- 2001
- 位置情報提供システム「ココセコム」を開発・発売
 - 日本初のがん治療の実額を補償する「自由診療保険メディコム」を発売

社会システム産業

- 2004
- 「セコムAED/パッケージサービス」の販売を開始
 - 「セコム安否確認サービス」を開発・発売
- 2006
- ベトナムへ進出
 - 能美防災(株)の第三者割当増資を引き受け、連結子会社化
- 2007
- 合成開口レーダー衛星の撮影画像を利用したサービスを開始
- 2011
- ニュージーランドへ進出
- 2012
- 国内防災業界大手のニッタン(株)を連結子会社化
 - 国内最大規模のデータセンター事業会社(株)アット東京がグループ入り
- 2014
- インドに総合病院「サクラ・ワールド・ホスピタル」を開院
- 2015
- 集配金サービス業界大手の(株)アサヒセキュリティを連結子会社化
- 2017
- BPO業務を提供する(株)TMJがグループ入り
- 2019
- トルコへ進出
- 2022
- 東京証券取引所の市場区分見直しにより、プライム市場へ移行
 - 総合セキュリティ企業の(株)セノンがグループ入り
- 2023
- アルテリア・ネットワークス(株)がグループ入り
- 2024
- アイルランドへ進出

セコムの競争優位

ブランド力

- ✓ 国内最大の顧客基盤
- ✓ ノウハウ・経験
- ✓ 知名度・顧客からの信頼
- ✓ ビジネス機会の創出
- ✓ 優秀な人財の採用

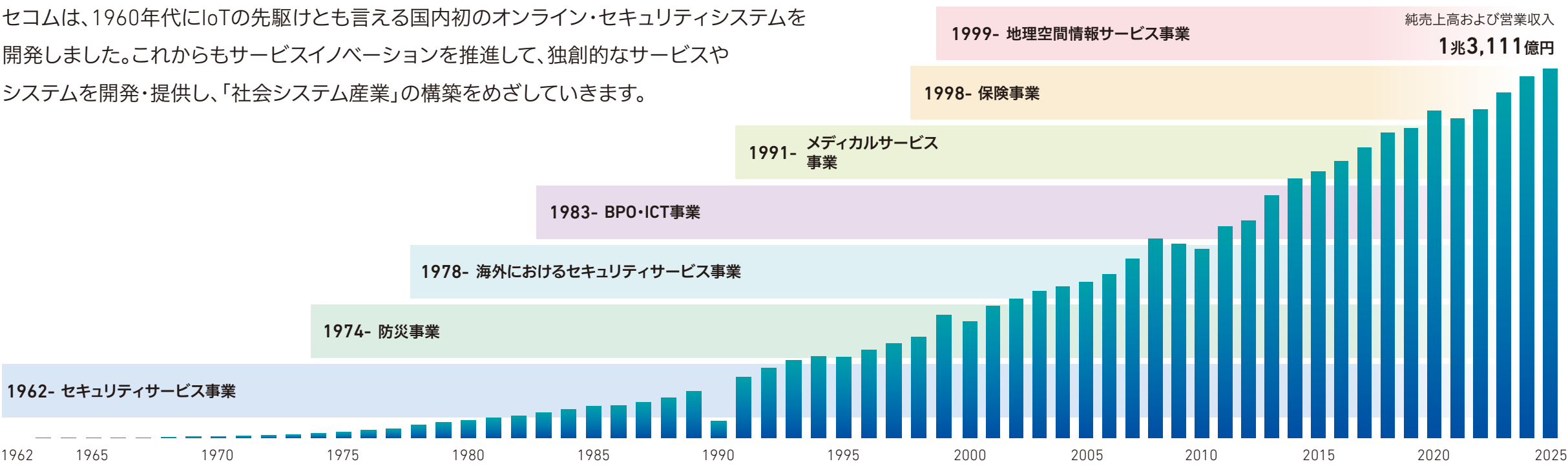
継続収入ビジネスモデル

- ✓ 安定的な収益の拡大
- ✓ 高い限界利益率
- ✓ 積極的な成長投資の源泉

グループの総合力

- ✓ 多様な事業の総合力を生かした課題解決能力
- ✓ 複数契約による契約継続
- ✓ グループの連携を活用した効率的な営業活動

セコムは、1960年代にIoTの先駆けとも言える国内初のオンライン・セキュリティシステムを開発しました。これからもサービスイノベーションを推進して、独創的なサービスやシステムを開発・提供し、「社会システム産業」の構築をめざしていきます。



(注) 上記グラフは各事業年度の公表時の純売上高および営業収入を表示し、組替表示はしていません。ただし、1977年11月期以前は日本会計基準でのセコム(株)単体の各事業年度の売上高、1978年11月期から2004年3月期は各事業年度の公表時の売上高およびその他の収入を表示しています。なお、1990年3月期は決算月を変更したため4カ月決算となっています。